

2026 年 10 月 27 日

## 交通広告ランキング 2026 年 9 月

「暮らしの選択」、「仕事の変化」、「秋のエンタメ」を映した 9 月

株式会社オリコム（本社：東京都港区、代表取締役社長：中島明美、資本金：1 億 6,500 万円）は、エム・アール・エス広告調査株式会社『MRS 交通広告データ集計システム』を基に、毎月の関東の交通広告（電車内/駅）の出稿ランキングと TOPICS を発表しています。

交通広告出稿ランキングには、生活者の関心や企業の広告戦略が反映される傾向があります。  
2026 年 9 月の出稿から、特に注目したい 3 つのトピックスをご紹介します。

| 順位 | 広告主               | 銘柄                  |
|----|-------------------|---------------------|
| 1  | サントリー             | 金麦（新ジャンル）           |
| 2  | 2027年国際園芸博覧会協会    | 2027年国際園芸博覧会協会      |
| 3  | マイナビ              | P R                 |
| 4  | サイボウズ             | キントーン（P a a S）      |
| 5  | ルミネ               | ルミネカード              |
| 6  | フィット              | ライフフィット（フィットネスジム）   |
| 7  | テレビ東京             | テレビ番組               |
| 8  | ビズリーチ             | ハーモス労務（労務管理システム）    |
| 9  | ブシロード             | バンドリ！アワーノーツ（ゲームアプリ） |
| 10 | リクルート             | スーモ（不動産・住宅情報サイト）    |
| 11 | K D D I           | a u 携帯電話            |
| 12 | 東京建物              | サービス P R            |
| 13 | ストライプジャパン         | ストライプ（決済サービス）       |
| 14 | マイナビ              | マイナビ転職（キャリア情報サイト）   |
| 15 | フジテレビジョン          | フジテレビオンデマンドプレミアム    |
| 16 | アサヒビール            | アサヒ生ビールスーパードライ      |
| 17 | レバレジーズ（求人情報）      | レバレジーズ（求人情報）        |
| 18 | サテライトオフィス（システム開発） | サテライトオフィス（システム開発）   |
| 19 | パナソニック            | パナソニックラムダッシュパームインプロ |
| 20 | アマゾンジャパン          | プライムビデオ（映像配信サービス）   |

出典：エム・アール・エス広告調査株式会社『MRS 交通広告データ集計システム』

※交通系事業・広告代理店を除く

## ■ TOPICS 01 | 夏から秋へ、暮らしの切り替えに寄り添う出稿

サントリー金麦、アサヒ生ビールスーパードライといったビール類に加え、ルミネカードやスーモなど、日々の暮らしに身近なブランドがランクインしました。9月は、10月の酒税法改正を前に晩酌の一杯を見直したり、住み替えや秋の買い物を検討したりと、暮らしの変化を意識しやすい時期とも考えられます。毎日の移動で繰り返し目に触れる交通広告を通じて、季節の変わり目の選択肢としてブランドを想起してもらう狙いがあるのではないのでしょうか。

## ■ TOPICS 02 | 「企業」と「働く人」双方に向けた出稿が上位に

サイボウズのキントーン、ビズリーチのハーモス労務、ストライプの決済サービス、サテライトオフィスのシステム開発といった企業向けサービスに加え、マイナビ転職やレバレッジズの求人情報など人材関連もランクイン。9月は多くの企業にとって上期の締めくくりにあたり、業務や組織運営の見直しへの関心が高まりやすい時期であり、働く人にとってもキャリアを見つめ直すタイミングと想定されます。そうした変化の機運に合わせて、日々の移動の中で接触する狙いが伺えます。

## ■ TOPICS 03 | 秋の改編期を前に、映像・ゲームのエンタメが集結

テレビ東京の番組、フジテレビオンデマンドプレミアム、アマゾンジャパンのプライムビデオ、ブシロードのゲームアプリと、映像・ゲームのエンタメ関連が並びました。テレビ各局が10月の番組改編を迎える9月は、秋からの新番組や新作に関心が向きやすい時期と考えられます。また、配信サービスやゲームアプリは、通勤・通学の車内や移動の合間にスマートフォンで楽しめるコンテンツでもあります。移動中のすきま時間に作品との出会いをつくる交通広告の特性が活かされていると思われます。

## ■ 編集後記

今月のランキングからは、暮らしに身近な商品やサービス、企業の業務改善や人材採用、さらには映像・ゲームなどのエンタメまで、多様な分野の出稿が目立ちました。それぞれに共通して見えてくるのは、生活者やビジネスパーソンの変化する関心や行動に寄り添おうとする姿勢です。日々の移動の中で自然に接点を生み出す交通広告の役割を改めて感じる月となりました。

## ■ オリコムについて

株式会社オリコムは、東京都港区新橋に本社を置く、1922年創業の総合広告会社です。世の中に一つでも多くの「良い関係」を創造することを企業理念に、マスメディア、OOH、デジタルソリューション、クリエイティブ、プロモーションなど幅広い事業を展開しています。

詳しくは <https://www.oricom.co.jp/> をご覧ください。

## ■ 参考記事

2026年8月版 | 今月の交通広告 TOPICS

<https://www.oricom.co.jp/topics/ooh/19254/>